



国際交流啓発セミナー

男性いきいきセミナー

色鮮やかな卵を作ろう！探そう！

国際交流員 クレマン・トリスタン

本日のスケジュール

たまごの染色

9:30 受付開始

10:00 イベント開始

10:05 卵づくり開始

10:45 卵づくり終了

イースターについてのミニ講座 + かご作り

10:50 ミニ講座開始

11:10 ミニ講座終了

11:15 かご作り

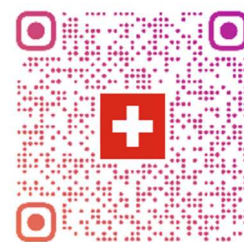
11:30 公園に移動

公演でのエッグハント

11:40 エッグハント開始

12:00 イベント終了

本日の写真は国際交流員の Instagram で
公開する予定ですのでご覧ください。
フォローよろしくお願ひします。



KASHIBA_CIR

イースターと何の関係？

イースター（復活祭）と言えばイースター・バニーや色鮮やかなイースターエッグ。フランス語圏のヨーロッパではイースターの鐘を思い浮かべます。でも、そもそもウサギは卵を産まない哺乳類ですよ…私たちがなんとなくイースターの象徴と思っているそれらは、キリストの復活を祝うイースターとどんな関係にあるのでしょうか。

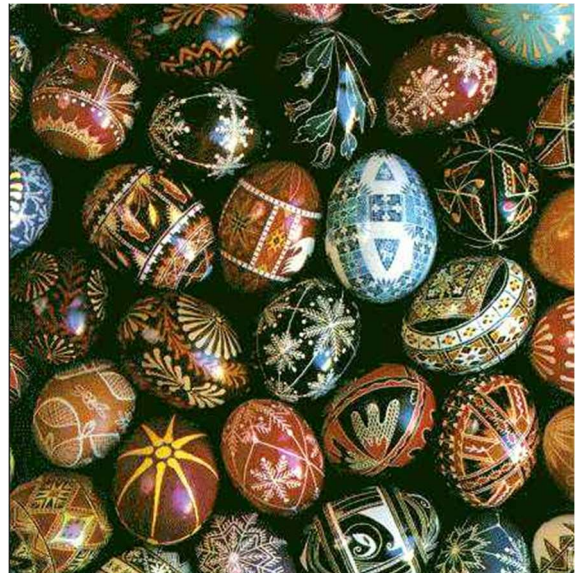
イースター・バニー

ウサギやノウサギは昔、雌雄同体（オスメス関係なく繁殖できる）と信じられており、その上処女性を失わずに繁殖できるとも信じられていました。そこから聖母マリアと関連付けられるようになりました。そのキリスト教との関係で復活祭の象徴として用いられるようになりました。また、キリスト教が浸透する前のドイツなどでも、多産であることから、春、復活と繁栄を祝うイースターのシンボルになりました。



たまご

春先に卵を送る習慣はキリスト教より昔にありました。古代ペルシア帝国、古代ローマ帝国、古代エジプトにもみられる習慣です。卵は、春の新しい命や再生に関連づけられてきましたが、キリスト教の伝統は、キリストの復活の象徴としても採用してきました。



イースターの空飛ぶ鐘

フランス語圏のヨーロッパでは、鐘が卵を持って来ると言われています。これには宗教的な理由があります。フランスでは、1年を通じて、教会の鐘は大忙しです。国のあちこちで、1日に数回は鳴り、特にお祝い日には非常に賑やかに鳴り響きます。しかし、イースター前の木曜日（聖木曜日）（イエス・キリストの死は水曜日・木曜日・金曜日だったと諸説あり）になると、キリストの死の記念日に合わせて鐘は静かになります。鐘が鳴らない理由を聞いている子ども達に、鐘が教皇のいるローマへ、祝別されるために飛んで行ったと言います（祝別はキリスト教で、人や物を聖とするために祈ること）。イースターの当日、イエスの復活に合わせて鐘がまた鳴るようになったときに、ローマから帰ってきたと言われています。しかし、手ぶらでは戻りません。その道すがら、鐘は色をつけた卵とチョコレートを集めて、フランスの行儀の良かった子ども達に配ります。空飛ぶ鐘は、これらの贈り物をイースターの当日に空から落として、人々の庭にばら撒きます。幸運な子ども達は朝目が覚めると、手にバスケットを持って、花や草の間に落ちているご褒美を取りに出かけます。そして鐘は、イエスの復活を祝って、歓喜の鐘を鳴らすのに間に合うよう、それぞれの教会に戻ります。鐘が空を飛び回るところを見ることができない保証はありませんが、教会に戻ってきたことは耳で確かめることができます…



鐘が鳴らない理由を聞いている子ども達に、鐘が教皇のいるローマへ、祝別されるために飛んで行ったと言います（祝別はキリスト教で、人や物を聖とするために祈ること）。イースターの当日、イエスの復活に合わせて鐘がまた鳴るようになったときに、ローマから帰ってきたと言われています。しかし、手ぶらでは戻りません。その道すがら、鐘は色をつけた卵とチョコレートを集めて、フランスの行儀の良かった子ども達に配ります。空飛ぶ鐘は、これらの贈り物をイースターの当日に空から落として、人々の庭にばら撒きます。幸運な子ども達は朝目が覚めると、手にバスケットを持って、花や草の間に落ちているご褒美を取りに出かけます。そして鐘は、イエスの復活を祝って、歓喜の鐘を鳴らすのに間に合うよう、それぞれの教会に戻ります。鐘が空を飛び回るところを見ることができない保証はありませんが、教会に戻ってきたことは耳で確かめることができます…

チョコレート

卵の形のチョコレートを作る習慣は、比較的新しい習慣です。18世紀に菓子製造業者が卵形のチョコレートを考え出したとされています。最初製造された時には、非常にダークで、苦かったです。それにメーカーはまだ簡単にチョコレートを成形する方法を知りませんでした。1828年、オランダの発明家 Van Houten が、滑らかで、成形できるチョコレートを作るのに必要な、カカオバターをカカオ豆から分離することのできるプレスを発明しました。そして、1866年、Cadbury 兄弟が大量にカカオバターを製造する方法を導入しました。そして、卵形のチョコレートは簡単に大量生産できるようになり、卵を空にして砂糖漬



けのアーモンドやお菓子を詰めることができるようになりました。イースターのチョコレートの販売は、Cadbury が 1905 年にミルクチョコレートエッグを導入して以来、イースターの伝統として定着しました。最近では、英国だけでも約 8,000 万個の卵が毎年イースターで販売されます。